

関東東山病害虫研究会報 第68集 (2021年12月)  
目 次

報 文  
病 害 の 部

(畑作物・野菜の病害)

2020年10～11月に茨城県つくば市で発生したメロン、キュウリ、ナスうどんこ病菌の殺菌剤耐性 ……窪田昌春・竹山さわな	1
東京都で発生した <i>Neocosmospora ipomoeae</i> によるパプリカ茎枯れ症状 ……………富田有理・中島 賢・久保田まや・廣岡裕吏・岩本千絵	5
2核 <i>Rhizoctonia</i> AG-A および AG-G によるイチゴ黒色根腐病 (病原追加) ……山城 都・山崎周一郎・福田 充	10
(果樹の病害)	
ブドウ黒とう病に対するジチアノン水和剤による休眠期防除の効果……………綿打享子・内田一秀・村上芳照・功刀幸博	13
(分類・同定法)	
<i>Phyllosticta</i> 属菌を中心とした植物病原微生物の分類・同定支援システムの情報基盤拡充への取組 ……………月居佳史・埋橋志穂美・佐藤 衛	17

虫 害 の 部

(イネ・ムギの虫害)

イネカメムシの加害による水稲不稔の発生について……………平江雅宏	24
----------------------------------	----

(畑作物・野菜の虫害)

ダイズの晩播はカメムシ類の被害軽減に有効である……………酒井和彦	27
襟状の折り返し構造がある障壁の設置によるトビイロヒョウタンゾウムシ成虫の移動低減効果 ……………三須翔太・清水敏夫・大井田 寛	33
ワケネギのアザミウマ類、ハモグリバエ類の発生やワケネギの生育に対する赤銀色マルチの効果 ……………大林隆司・加藤綾奈・八瀬順也	35
天敵温存植物2種上におけるアザミウマ類及びヒメハナカメムシ類の種構成と発生量の評価 ……………倉吉耕平・多々良明夫・大井田 寛	41
次世代型バンカー資材キットによる施設キュウリのワタアブラムシに対する防除効果 ……………長坂幸吉・光永貴之・有本 誠・手塚俊行・小原慎司・伊藤健司	44
施設ナスおよび施設トマトにおける次世代型バンカー資材キットとタバコカスミカメの併用の可能性 ……………長坂幸吉・光永貴之・有本 誠・村上理都子・手塚俊行・小原慎司・伊藤健司	47
群馬県の施設栽培のイチゴに発生したヒラズハナアザミウマに対する各種薬剤の殺虫効果 ……………南雲顕太・砂原弘子・鈴木桃子・藍澤 亨・新井朋二	53
ナミハダニ黄緑型およびカンザワハダニに対する気門封鎖型薬剤の異なる処理量における殺成虫および殺卵効果 ……………横山 薫・藍澤 亨・池田健太郎	56
群馬県におけるナスのミツユビナミハダニに対する各種薬剤の殺虫効果……………横山 薫・藍澤 亨・池田健太郎	59
(茶の虫害)	
チャ実生とチャトゲコナジラミを用いた飼育試験におけるシルベストリコバチ2系統の生態的特性について ……………屋良佳緒利・下田武志・上杉龍士・佐藤安志	62
(果樹の虫害)	
クビアカツヤカミキリの産卵行動における寄主植物のにおい情報の関与……………安居拓恵・上地奈美	66
栃木県のモモ園における3か年のクビアカツヤカミキリ成虫の発生消長と現地防除対策の有効性の検討 ……………春山直人・八板 理・福田 充	70
栃木県におけるクビアカツヤカミキリの蛹室形成・蛹化・羽化時期……………春山直人・八板 理・福田 充	76
茨城県の露地ナシ圃場における土着カブリダニ類の種構成および発生消長 ……………窪田直也・田中弘毅・山口貴史・栗原 杏・小河原孝司	80
茨城県ナシ園における土着天敵ニセラーゴカブリダニからの蛍光プライマーを用いたナミハダニおよび カンザワハダニ DNA の検出……………窪田直也・村上理都子・有本 誠・小河原孝司	83

## そ の 他

関東東山地区に新たに発生が確認された病害虫（2020年度） .....	87
本会記事 .....	91
英文目次（CONTENTS） .....	93
関東東山病害虫研究会投稿規定，執筆要領 .....	95
関東東山病害虫研究会賛助会員 .....	102